

2025. 9. 7

「東区総合防災訓練」に参加して

社会奉仕委員 柴田 博隆(34期)

令和7年度の「東区総合防災訓練」が、東桜小学校で開催された。

私は、今回初めての参加であったが、志村さんとともに「福祉避難スペース設置」活動に参加した。

この避難スペースは、災害時に健常者も障害者も同じ部屋に入っていたのでは、お互いにストレスを感じるため、障害者だけを避難させる目的で設置されるとのこと。

緊急時のため、設備というものは無く、小学校の教室にあるものだけを使って、自分たちで組み立てる方法を学んだ。

- ① 木製ベッド・・・教室のイスを並べ、その上にダンボールを載せ、その上にプチプチを敷いて作ったもの。
- ② ダンボールベッド・・・学校に備蓄されているベッド用のダンボールを組み立て、その上にアルミシートを敷いたもの。枕は、新聞紙を丸めてビニール袋に入れたもので代用。
- ③ トイレ・・・ダンボールで作ろうと試みたがうまくいかず、教室のイスを横にして、そこにビニール袋をかぶせ、臨時のトイレとし、回りを外から見えないようにダンボールで囲ったもの。



ベッドとトイレの作製が終わった頃、東桜小学校の5年生と、学区民が4回に亘って見学に訪れ、障害者支援役員の方から説明を受けていた。

ベッドもトイレも通常の生活では、使わないようなものでも、災害時には無いよりはましであり、その作製方法を学べたのは、意義があったと思う。

私たちは、避難スペースの設置だけを行ったが、他にも「ボランティアセンター」の紹介、「ガラス飛散防止フィルム」デモなどの活動があるので、関心のある方は、次回に是非ご参加ください。

